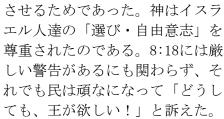


2010年10月10日

【先週のメッセージより】第一サムエル八章 **王様が欲しい!**

- ●イスラエルの民はなぜ王を求めたのか。第一の理由は、8:1-3にあるようにサムエルの子供たちが、父親の道を歩まなかったからである。民はサムエルの子供たちに幻滅していたが、この状態こそ危険である。人に幻滅した時、であるが、往々にして人は問題解決をしてくれそうな理想の「人間」を求め始める。その理想に堪える人間は残念ながらいない。
- ●イスラエル人は更に、回りの国と自国とを比べる過ちを犯した。神が後ろ盾なら何も恐れる必要がなかったにも関わらず、彼らはと同じような王が欲しいと問題と同じようなが、全ての問題は、年さると考えたのである。7-8 節で神は民のことであるとまですることであるとまですることであるとまですった。なぜだろうか。
- ●第一に「人間の王」がどういう 認

存在か、実際に彼らに経験



●第二の理由は、来るべき神の御 子、メシヤ=救い主/キリストの ための備えである。どんなに優れ た王でも真の平和は作れず、人間 がつくり出す、あらゆる政治シス テム(全体主義、社会主義、共産主義、 自由主義、資本主義、その他) も一見 理想的に見えても、人間存在の根 幹に横たわる自己中心と高慢の罪 ゆえに、必ず内側から崩壊してし まう。人が真にメシヤを求める始 めるには、先ず、自分の愚かさを 知る必要がある、ということなの だ。そうしてこそ、初めて、人は 神に立ち返り、再び神を王として 認め迎えようとするのである。|

【今週の暗唱聖句】詩篇33:18

見よ。主の目は主を恐れる者に注がれる。

これに加えて、Iサムエル15:22「・・・見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。」も覚えよう。神は私たちの心を見られることをどんな時にも覚えよう。ダビデが詩篇139篇の最後に「私を探り、私の心を知ってください。私を調べ、私の思い煩いを知ってください。」と祈るようであろう。■

【デボーションのための祈りを二つ・・・】

くしあわせ> マザーテレサ

私たちは、みな、幸せになるために、生まれてきました。そして、神(イエス)を愛するようになったときにだけ、本当の幸せと安らぎを見いだすことができます。イエスを愛することで、喜びを感じ、大きな幸せを感じるのです。

イエス様! 私をお救いください。

愛されたいという欲望から ほめられたいという欲望から 名誉を得たいという欲望から 賞賛されたいという欲望から 人よりも好かれたいという欲望から 相談されたいという欲望から よく思われたいという欲望から よく思われたいという欲望から

屈辱を受けるという恐れから 軽蔑されるという恐れから 非難されるという恐れから 中傷されるという恐れから 忘れ去られるという恐れから ひどい扱いを受けるという恐れから 嘲笑されるという恐れから 疑われるという恐れから



<Knowing You Prompts Me to...>

annonymous

How can I love without Knowing You?

If I sing praises without knowing
You, my praises are empty
If I serve with fervance and do not
know whom I wish to satisfy,
If I repent without much thought
about how I greive You,

What good is all the religion in the world?

For

Knowing You causes me to Praise You, Knowing You causes me to Adore You.



Knowing You promts me to Humble myself before You, Knowing You promts me to Cry about my sinful nature,

Knowing You brings me to Repentance, Knowing You brings me to a Fresh new walk.

Knowing You makes me weep for the Sins of society, Knowing You makes me want to Tell of Your salvation.

So Lord,

I desire to know You more, to know You better, to know You deeper